■　報告事項

（１）　令和５年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

１　令和５年度　事業計画

【基本方針】

約３年に亘り、新型コロナウイルスの影響を受け続けてきた観光業界も、昨年は国による全国観光支援策や水際対策の緩和などから、ようやく本格的な回復の兆しが見え始めてきました。観光庁は今年度より「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」をキーワードに掲げ、大阪・関西万博が開催される 2025 年をめどに「インバウンド回復」、「国内交流拡大」「持続可能な観光地域づくり」に戦略的に取り組む新たな観光立国推進計画を打ち出しています。当協会におきましても、コロナ禍からの観光復活、そして地域観光を振興していくための根幹として、今年度より開始する「びわ湖大津観光協会第３次中期ビジョン」の策定を行ったところです。大津市の「第３期大津市観光交流基本計画」の実現に資する活動の実践とともに、「市民が地域をより良くしたいと考えるシビックプライドを地域に根付かせる」、「巡るまち大津」（循環型社会）、「クール大津」（循環型経済）の推進により、持続可能な観光地づくりを推進することを、「もっと“びわ湖大津”」という言葉に込めて取り組んでまいります。

とりわけ 2024 年１月からは石山寺ゆかりの紫式部を主人公とした大河ドラマ『光る君へ』の放映が決定しており、昨年度に官民一体で発足した『大津市大河ドラマ「光る君へ」活用推進協議会』の一翼を担う役割として成果の最大化に努めると共に、大津市全体の活性化につながるように取り組みます。また、第３次中期ビジョンの目標達成に向けた取組として令和４年度に造成した「びわ湖大津 SDGs 教育旅行プログラム」や「インバウンド向けプライベートガイドツアー」の充実を図ると共に、さらに大津ならではの自然・文化・歴史・地域産業を活かした高付加価値な観光コンテンツの造成に努めます。インバウンド需要の回復に向けては、2025 年の大阪・関西万博を機会とした誘客拡大を見据えて、台湾を中心とした現地セールスやプロモーションに取り組みます。令和５年度がびわ湖大津観光の更なる飛躍を遂げる元年となるよう取組を進めてまいります。

【公益目的事業】

1．観光宣伝誘客事業

（1）コンテンツツーリズム誘客促進事業

多様化するターゲットの嗜好を明確にしたコンテンツツーリズムの展開として、機会を捉えた的確な情報発信を行いびわ湖大津の認知度向上及び誘客促進を図る。

①大河ドラマ「光る君へ」放送を見据えた情報発信

令和６年大河ドラマ「光る君へ」の放送を見据え、誘客イベントの実施や情報発信などを行い、紫式部・源氏物語ゆかりの地であるびわ湖大津を PR する。

②戦国舞台大津　大河ドラマ「どうする家康」・「塞王の楯」ゆかりの地誘客促進

戦国の舞台となった大津への誘客を図るため、びわ湖の桜とあお若葉と連携した情報発信や、徳川家康に関連した講演会・ツアー等のイベントを実施する。

③コンテンツや季節の話題に対応した情報発信

滋賀ロケーションオフィスと連動し、びわ湖大津が舞台となった小説やアニメ、マンガ等のコンテンツや、四季折々の話題など、メディアや旅行会社等の多様なニーズに応えた情報発信により、びわ湖大津の認知度向上並びに誘客促進を図る。また、大津ならではのグルメや自然を活かした取り組みなど、新しいコンテンツの開発も目指す。

（2）歴史的文化財を活用した誘客事業

湖信会社寺の歴史文化と自然に囲まれたロケーションを活用し、各社寺における特別公開やご朱印の対応を行う。また、滞在型周遊を促進するため県内他市町と広域で連携し事業を実施する。

①びわ湖の桜とあお若葉（もみじ）誘客キャンペーン

開催期間　令和５年３月～６月、令和６年３月～６月

内　　容　桜の季節やゴールデンウィーク、初夏にかけて誘客促進を行う。

②大津市内社寺の特別公開や記念事業等の秋の紅葉シーズンにあわせた誘客促進事業

開催期間　令和５年９月～ 12 月

内　　容　シルバーウィークから秋の紅葉シーズンにかけて誘客促進を行う。

（3）観光プロモーション事業

WEB や SNS 広告などのデジタル媒体や雑誌・フリーペーパー広告などのプロモーションツールの活用、また、季刊情報誌や観光ポスターの作成などを通して、ターゲットに沿った戦略的な広報宣伝活動を行う。

①観光宣伝物作成事業

季節毎に大津観光の楽しみ方を紹介するパンフレットの作成と合わせて、連動した WEB サイトの公開や SNS の活用により、旅の提案を広く発信する。また、雑誌やフリーペーパー広告等を活用した効果的な情報発信も行う。

（ア）季刊情報誌の作成

（イ）雑誌・フリーペーパー広告を活用したプロモーション

②観光情報ネットワーク事業

観光ホームページ「びわ湖大津トラベルガイド」を活用した情報発信をはじめ、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなど各 SNS の特性を活かした情報発信を強化し誘客促進

を図る。また、WEB や SNS 広告を活用した効果的なプロモーションを展開する。

（ア）SNS を活用した情報発信

（イ）WEB・SNS 広告を活用したプロモーション

③メディア広報 PR 事業

TV 局や新聞社・出版社等のメディア媒体に向けた情報提供を行い、放映や掲載を通してびわ湖大津の PR を行う。

④公共交通機関と連携したプロモーション

鉄道会社やバス会社等との連携による車内釣り広告や駅貼りポスター広告等で情報拡散を図る。

（4）びわ湖大津観光大使事業

「びわ湖大津」の観光宣伝の一翼を担うびわ湖大津観光大使を選任し、市内での観光イベントや市内外での観光キャンペーン、SNS 等を通じて、大津の魅力を広く発信する。

（5）第 69 回びわ湖開き事業

湖国滋賀に春の到来と湖上観光の幕開けを告げ、びわ湖に訪れる観光客の安全を祈念すると共に、水の恵みに感謝し、びわ湖の環境保全を呼びかける。

開 催 日　令和 6 年 3 月 9 日（土）　予定

場　　所　大津港、外輪船ミシガン等

（6）大阪・関西万博に向けた周遊促進策の検討

2025 年「大阪・関西万博」の開催に向けて、びわ湖大津への誘致を目指した周遊促進策を検討する。

2．観光客受入整備事業

（1）ライトアップ事業

夜間観光の促進による宿泊滞在型観光の推進を図るため、大津の豊かな自然や歴史ある建造物をライトアップする。

①びわ湖大津春のライトアップ　桜の琵琶湖疏水

開催期間　令和 5 年 3 月 24 日（金）～ 4 月 9 日（日）

場　　所　琵琶湖疏水

②びわ湖大津夏のライトアップ

（ア）近江神宮ライトアップ

開催期間　令和 5 年 7 月 21 日（金）～ 23 日（日）　予定

場　　所　近江神宮楼門

（イ）西教寺光りの参道

開催期間　令和 5 年 7 月 29 日（土）～ 9 月 3 日（日）　予定

場　　所　西教寺参道

③市内事業者・地域と連携して新たなライトアップイベントの展開

（2）「かるたの聖地・大津」誘客促進事業

かるたの聖地・大津の取り組みとして、百人一首や競技かるたを活用したイベントの開催や大津で開催される競技かるた大会の運営補助や宿泊斡旋等の受入支援などを行い、誘客促進を図る。

（3）観光案内所運営事業

地元と連携を図りながら、石山駅観光案内所、堅田駅前観光案内所の運営を行う。

（4）サテライト観光案内所運営事業

来訪客の満足度向上のため、市内で行われるスポーツイベントや祭り等で臨時の観光案内所を開設する。また、市外のターミナル施設などにおいて、季節の観光情報の発信を行い、大津市への誘客促進を図る。

（5）観光ボランティアガイド活用事業

MICE・教育旅行の受入強化および来訪者の満足度向上のため、市内ボランティアガイド団体と連携して受入体制の充実を図る。

①研修会の開催による資質の向上

②ガイド人員拡充等、体制の充実

（6）びわ湖疏水船事業の活用による観光振興事業

「琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会」において京都市観光協会と共に中核を担う役割として疏水船の利用促進と安全運航の推進を図ると共に、将来的な基盤整備の検討を行う。

また、大津港への延伸に伴う乗船前後の市内周遊促進を図り、京都・大津間の誘客ルートとして確立させ、インバウンド商品としての開発や大津市民への周知にも努める。

（7）びわこ花噴水運転事業

（8）びわ湖湖岸スペースの観光活用検討

湖畔のリゾートとして琵琶湖の水辺空間の観光有効活用を検討する。

3．教育旅行受入対策事業

（1）教育旅行誘致促進事業

びわこビジターズビューローと連携し、旅行会社へのセールスやキャラバンの実施など、効果的と考えられる手法により教育旅行の誘致促進を実施する。

① BVB キャラバン参加

②部会によるセールス・プロモーション

（2）情報発信事業

教育旅行パンフレット「体験旅びわ湖大津」、「びわ湖大津 SDGs 学習プログラム」等を含む、市内観光事業者の施設を PR する印刷物を県外の教育機関及び旅行会社へ送付し、大津市の教育旅行プログラムに関する情報発信を行う。

（3）教育旅行受入体制整備事業

令和4年度に造成した「びわ湖大津SDGs学習プログラム」の実施・研修を通じて、内容と実施体制の磨き上げを行い、受入体制の充実を図る。また、モニタープログラムや研修会等を実施して、地域の看板商品としての市内外への認知度向上を図る。また、引き続きびわ湖大津ならではのプログラムの造成・拡充を図る。

（4）教育旅行企画書・タリフ作成事業

会員事業者や旅行会社が販売活動に活用できる教育旅行企画書・タリフの作成および販促物等の整備を進める。

4．MICE・インバウンド対策事業

（1）大津市MICE推進室・びわこビジターズビューローと連携したプロモーション事業

大津市およびびわこビジターズビューローと連携して、MICE並びにインバウンドの誘客促進に取り組む。

① BVBインバウンド部会による商談会参加および情報提供

②大津市MICE推進室との情報共有

（2）台湾市場からの誘客促進を図るプロモーション事業

2025年大阪・関西万博を見据えて、台湾市場へのプロモーションを進める。

（3）着地型モデルプラン・コンテンツ（団体向け・個人向け）の整備事業

（4）会員事業者のMICE・インバウンドセールス支援

国内で開催される商談会等へ参加する会員事業者セールス支援および情報発信サポート

（5）京都市認定通訳ガイド活用事業

大津市が参画する京都市認定通訳ガイドの活用と会員事業者との連携促進を図る。

（6）外国語ボランティアガイドの活用事業

地域で活動するボランティアガイド「大津英語観光ガイドクラブ（OEGT)」と連携して、ガイドのスキル向上に向けた実地研修の実施など受入体制の充実を図る。

（7）台南市旅行同業公會との友好協定活用事業

5．広域観光振興事業

（1）滋賀県・(公社）びわこビジターズビューローとの連携事業

滋賀県およびびわこビジターズビューローが行う事業と連携して効果的な観光情報発信と誘客イベント等を実施する。

①県主催観光誘客事業における地域情報の提供および誘客イベントの実施

シガリズム魅力向上・発信事業ならびにコンテンツ創出事業など

②県観光情報誌等への情報提供

③国内旅行商品企画担当者商談会での情報提供および商談
④会員に向けて県が行う各種観光支援施策の周知ならびに活用促進を図る。

（2）湖信会十社寺との連携事業
湖信会十社寺との連携により、文化財・文化的景観による観光誘客や、子どもたちや地域住民の誇りになる活動を活用して市内来訪・周遊の促進を図る。

（3）大津市諸団体との連携事業
大津商工会議所、大津市国際親善協会、大津市公園緑地協会、比良比叡トレイル協議会など市内諸団体と連携を図り、地域における観光振興推進に取り組む。

（4）大津志賀観光振興事業
より広範囲に大津観光の展開を図るため、びわ湖大津志賀観光振興協議会に参画し、誘客事業、誘客促進事業を図る。

（5）びわ湖大津夏まつり事業
市内各団体と連携し、「びわ湖大津ビワコイ祭り」を開催する。

（6）地域観光振興事業
大津市内の地域観光協会や諸団体が年間を通じて実施している、観光 PR やイベント事業の活性化を通じて地域振興を図る。

（7）市内観光事業への後援・協賛等
関係諸団体の主催する観光事業等に対し、後援･表彰等を行い、観光振興の機運醸成に努める。

6．物産振興事業

（1）物産プロモーション事業
WEB、SNS 等での情報発信を積極的に行うとともに、市内外でのイベントや公共交通機関等との連携により大津の物産を PR する。
①観光宣伝・誘客部会と連携し、季刊情報誌や SNS 等を活用した情報発信
②大河ドラマ放映を機会とする商品開発の促進
③公共交通機関との連携事業

（2）市内外開催イベントおよび物産展等への出店事業
大津市内で開催される各種大会やイベントでの出店を通して、来訪客の満足度向上を図る。また、滋賀県やびわこビジターズビューロー、そして大津市や大津商工会議所などの関係団体と連携するなかで、市外プロモーションとして商業施設等での物産展等へ出店する。
①近鉄百貨店草津店「近江路」
②おいで～な滋賀 in 名古屋（びわこビジターズビューロー主催）
③大津祭に伴う物産展
④その他県内開催イベント等における出展　　など

（３）会員事業所における資源有効利用に関する調査・研究

物産会員を中心に、地域の循環型社会形成に寄与する取り組みとして、事業を通じて発生する廃棄物等の有効な再利用の促進に関する調査・研究を行う。

【収益事業】

（１）物販事業（観光名刺台紙、観光キャラクター関連商品等）

（２）チケット販売事業（イベント入場券や企画乗車券類等）

（３）市内開催イベント等での物販斡旋事業

（４）旅行業事業

①びわ湖大津の自然や文化、また季節毎の特色を活かした募集型企画旅行の造成・販売

②びわ湖大津 SDGs 学習プログラムを中心とした教育旅行受入事業

③全国高校かるた選手権大会等の着型イベント受入事業

【会議】

１．通常総会

２．理事会

３．専門部会（総括部会、総務部会、観光宣伝･誘客部会、MICE インバウンド部会、教育旅行部会、物産振興部会）

４．地域観光協会連絡会議（地域観光協会懇話会）